

未来へ飛び立つ力をつけて、大空へ育まれています！5つの力！

〔「活用力・表現力・向上心・社会性・人権尊重の精神」〕

第2期 岡山市教育大綱

岡山市がめざす子どもの姿

自らの個性を磨き、
選択と挑戦を繰り返すことができる子ども

岡山市がめざす子どもに必要な

育む5つの力

活用力

表現力

向上心

社会性

人権尊重の精神

学びの土台

やる気につながる好奇心

学校環境の充実

学校・家庭・地域で、子どもたちが身につけた力をいっばい紹介するよ！

学校

家庭・地域

学校・家庭・地域で、子どもたちが身につけた力をいっばい紹介するよ！

学校

家庭・地域

学校・家庭・地域で、子どもたちが身につけた力をいっばい紹介するよ！

学校

家庭・地域

● 教育委員会広報動画 ●

教育長がきょうもいく！

岡山市教育委員会が進める施策について、広報専門官「こらぼん」と三宅教育長が一緒に現場に出て、保護者や市民の皆さんに分かりやすく伝えています。

岡山市教育委員会 教育長 三宅泰司

第2期岡山市教育大綱

岡山市教育委員会では、令和3年度から「第2期岡山市教育大綱」に示された、「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども」の育成をめざし、「活用力」「表現力」「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」の5つの力を育む取組を、学校・家庭・地域の様々な場面で進めてきました。

令和7年度で第2期教育大綱の対象期間が終了します。最終年度となる今年度は、学校での取組を中心に、特に、子どもたちが自ら考え、発表する様子を中心に紹介します。

岡山市では、これからの子どもたちが自らの力を伸ばし、希望をもって未来へ飛び立っていきけるよう、様々な取組にチャレンジしていきます。

教員委員会インフォメーション

部活動を支える取組を進めています。

— 岡山市立上南中学校 —

バレーボール部

部活動指導員の声

20年以上バレーボールの指導に携わってきました。生徒が3年間部活動を経験することを目標とし、技術の向上だけでなく、バレーボールの楽しさも味わえるよう指導しています。学校とは密に連携し情報共有を行っており、生徒の成長を見守っています。

三宅 正秀さん

生徒の声

練習はキツイけど、そのぶん強く上手くなって試合で勝ったときの喜びはとて大きいんです。部活動指導員の方は高齢なのに誰よりも声が大きくて、プレーも本当に上手。技術だけでなく、チームをまとめる力もすごいなと思っています。

三宅 泰誠さん 3年生

音楽部

部活動指導員の声

長年、音楽教員として子どもたちと向き合ってきました。部活動ならではの深い信頼関係を感じています。厳しさの中にも温かさを忘れず、生徒たちが達成感を得られるような指導を心がけています。

音楽部 部活動指導員 塩見 研治さん

生徒の声

楽器の演奏は初めてで不安もありましたが、先生が丁寧に教えてくださったおかげで、楽しく取り組むことができました。いつも一人一人に向き合い、わかりやすく教えてくださいました。部活動を通して、これからも音楽に関わっていきたいと思うようになりました。

川上 柚衣花さん 3年生

岡山市教員養成セミナー「夢への扉」を実施しました。

三宅 教育長

岡山市では、教員を目指す大学生に向けて、教員養成セミナー「夢への扉」(全3回)を実施しています。授業づくりやICT活用、特別支援教育などをテーマに教育委員会の職員(経験豊富な先生)とともに学び、現場に必要な視点や考え方への理解を深めています。

こうした取組を通じ、教員を目指す学生の学びを支えながら、未来を担う子どもたちを支える教員の育成に取り組んでまいります。

参加者の声

セミナーでは、教員に求められる力が明確に示され、これから何を学ぶべきかを考えるきっかけになりました。第2回目の会場となった小学校では、1人1台の端末を活用したICT授業を体験することができ、授業がより身近に感じられました。最初は「子どもの声がたくさん聞こえる授業」が自分のなりたい教師像でしたが、今は「子どもが学びたいことを自由に話せる授業」をつくれる教師を目指したいです。

ノートルダム清心女子大学 香川 梓さん

主催者の声

大学生にとって、まだ未経験である現場の様子や課題を、教育委員会の職員(経験豊富な先生)から直接聞けるのが最大の魅力です。また、異なる大学の同年代の学生と意見交換することで、視野も広がります。一人一人が自信をもって教員の道を歩み始められるよう、このセミナーを通して現場への不安をやわらげ、「やってみよう」という気持ちを引き出し、将来の教育現場で活躍する力を育てて欲しいです。

教員員 榎 管理室 妹尾 建一郎さん

学校の空調設備整備を進めています。

岡山市では、小・中学校の普通教室に加え、特別教室や中学校の体育館への空調整備を進めています。今年の夏から全ての特別教室で空調が使えるようになりました。快適な授業環境の実現だけでなく、熱中症対策や避難所としての機能向上にもつながります。今後もより良い学習環境の整備に取り組んでまいります。

すべての市立学校に防犯カメラを設置します。

岡山市では、門扉の管理や避難訓練などの日常的な対策に加えて、すべての市立学校への防犯カメラの設置を進めています。引き続き、子どもたちがより安心して学べる環境づくりに取り組んでいきます。

こらぼVol.19に寄せられたご意見・ご感想

前回のテーマ「やる気につながる好奇心」

小2の息子はこだわりが強く好きな事が好きで、タイプですが、パソコンやタブレットを使った取組は好きなので、そういったことは楽しく取り組めたり、苦手な教科も取り組みやすくなるのかなと期待できました。

また、国際交流会の記事もすごく魅力的で、ただ当日交流、というわけではなく事前に様々な準備を生徒と相談しながら進めていくのはより交流を深めることができたり、参加しやすい雰囲気になるのでは、と魅力的に感じました！

小学校で授業支援ソフトを活用している記事を読んで、自分たちの頃とは全く違った授業の進め方に驚きました。大型モニターで全員の考えが共有されており、みんなの前で発表することが苦手な友だちの意見もリアルタイムで知ることができ、良い仕組みだなと感じました。

うちの子供たちはまだ未就学児で、小学校での取組を知ることができた機会が少ないので、記事で知ることができてよかったです。

「こらぼ」の感想で夏休みに公民館を利用をされた方の話を讀み、とても共感しました。同じように我が家が今年の夏は公民館で様々な体験をしました。公民館の良さは、体験と経験、何より地域の方との交流や様々な人と繋がることがありがたいと感じた夏でした。

紙面で紹介している教職員や関係者の所属は令和7年8月末現在のものです。

発行・お問い合わせ／岡山市教育委員会事務局教育総務部教育企画総務課
TEL:086-803-1571

編集・制作／株式会社オフィスブルー

LINE@岡山市教育委員会 配信中！

教育委員会の取組や子育てに役立つ情報、学校給食レシピなどを配信しています！ぜひご登録を！

過去の教育広報紙「こらぼ」はこちら

未来へ飛び立つ力を 育んでいます。

国語 共感と納得を得る 言語コミュニケーション

吉備小学校6年生の国語の授業では、「スポーツのよさ」についてのオンライン意見交換会を教材に、インターネット上でコミュニケーションについて話し合いました。6つの異なる意見の中から、自分が「共感」や「納得」ができる意見を選び、その理由を考えて文章にまとめたあと、言語表現の特徴について意見を出し合いました。



グループで話し合うことで、「自分の考えの伝え方」がわかったよ。



岡山市では、5つの力が育まれるよう、ねらいをもって授業に取り組んでいるよ。子どもたちもどんどん自分の力を発揮しているよ！

岡山市立吉備小学校



児童の声

違う意見から共感・納得へのプロセス体験

授業はとても楽しかったです。題材もですが、グループで話し合ったりクラス全体の意見を聞いたりする中で「意見が違う」場合に、自分が納得するには相手にどう言ってもらえたらいいのかわかりました。自分と違う考えの人には、自分から積極的に質問して、その人が何を考えているのかちゃんと知らなければいけないと思いました。



吉備小学校 6年生 田中 ひなさん

先生の声

自分で考え言葉にする、多様な表現力を育成

日常的に目にする表現から、説得力を得られる内容を見分け、自分の言葉としてどう言語化するかをテーマにしています。「こうすればよかった」「共感・納得の概念だけでなく「もっと良い方法があるのではないか」という批判的思考からも新たな気づきが生まれていました。今後ますます加速する予測可能な時代において、多様な意見やコミュニケーションを自分のものとして理解しながら、相手を尊重できる言語力と社会性を身につけてほしいと考えています。



吉備小学校 安道 隼人先生

学校で育む

道徳

責任ある行動って？ SNSを通して考える

御南中学校3年生の道徳の授業では、「友達同士で撮った写真を本人の知らないところで送ってしまう」というSNSでのトラブルを題材に、生徒たちは「自分ならどう思うか」「相手はどんな気持ちか」と想像をめぐらせ、適切なツールの中にも思いやりと配慮が必要であることを学んでいました。



それぞれの気持ちを話し合い、感じ方の違いに気づきました。



先生の声

自分の気持ちで答えを見つける授業づくり

今回の授業では、SNSのトラブルを通して、相手の立場に立って考えることや、多角的に物事を見ることの大切さを学びました。生徒たちにとって、人との関わり方を見つめ直す良い機会になったと思います。道徳では、自分の考えを素直に表現できる雰囲気づくりを大切にしています。感想には、実生活と結びつけた気づきが多く見られ、行動の変化も期待できそうです。また、端末を使い文字で意見を伝える場も設け、多様な考えの共有にもつなげています。



御南中学校 假谷 里帆先生

岡山市立御南中学校

社会

世界の宗教誕生に学ぶ、 多様な文化の理解

中学1年生の社会科では、仏教・キリスト教・イスラム教などの宗教と文化の関わりについて学びました。文明が発展した地域に注目し、教科書や資料集から情報を調べ、宗教が誕生した背景を探りました。子どもたちは、調べたことをグループで話し合い、端



先生の声

「知る」から「考える」へ、深まる学び

授業では、生徒が意見を出し合えるよう、班ごとに役割を決めて発表に取り組んでいます。役割を明確にすることで、意見交換に集中しやすくなり、互いの考えを深め合える学びへとつなげています。教科書や資料をもとに、まず個人で考え、自分の考えをもち、その後グループで意見交換をするという流れにすることで、生徒たちの理解がより深まるよう工夫しています。学びを通して、小学校で学んだ知識をつなげて考える生徒や、自分でさらに調べてくる生徒もあり、学んだことが次の授業や日常生活にも生かされていると感じています。



御南中学校 高畑 昌志先生

授業で学んだことが、これからの社会を生き抜く力になっていくんだよ！

育む 5つの力

活用力

情報を収集して、
解釈したり
活用したりする力

表現力

自分の思っていることや
考えたことを、他者に
分かりやすく伝える力

向上心

何事に対しても、
粘り強く取り組み、
乗り越える力

社会性

立場や意見が違う相手とも
協力し、より良いものに
しようと取り組む力

人権尊重の精神

命を大切に、自他の人権を
尊重し、お互いの個性を認め
合う心、他人を思いやる心

地域で育む

地域と学校の協働フォーラム

教育長より、学校と地域が共に
子どもを育てていくことの
大切さについてお話がありました。



他校の実践発表を聞いて、
自校でもやってみたいと
思いました！

幅広い学びと経験から
地域への愛着を育む

岡山市では、学校園が地域と協働して子どもを育む取組を行っています。今回のフォーラムには、校園長をはじめ、地域の皆さまにご参加いただきました。パネラーには、眞島小・上南中、雄神小・芳泉小・平津小から、校長や地域の方が登壇し、活動紹介と今後の課題、展望について発表がありました。

子どもたちが地域の方々といきいきと関わる様子が紹介され、地域とのつながりが学びの広がりにつながっていることが感じられました。

これから、地域の方々と一緒に、子どもたちの学びと成長を支えていきます。

学校・地域・各種施設でのさまざまな
学びを通して、子どもたちのイキイキ
した姿に出会えたよ！これからも「5つ
の力」をどんどん育んでいこう！

岡山市立七区小学校

みんなで田植え体験！
いい思い出になったよ！



児童の声

大切に育てた苗を
ちゃんと植えることが
できて良かった。秋に
収穫して「大飯会」で
みんなと食べるのが
楽しみです。

泥に足が沈む感覚
にびっくりしました。足
の抜き方や苗の持ち
方、関節の使い方など
教えてもらったら上
手になりました。

先生の声

食と地域、総合的な体験学習

地域の方々の協力を得て、5年生は「食料生産学習」と関連させた米づくりに挑戦しました。農業が盛んなこの地域ならではの学びを通して、児童たちは前向きに取り組む、教室では得られない経験を重ねることができました。



七区小学校 濱野 拓也先生

地域の方の声

20年以上続く米づくりの体験

七区は農業地域とはいえ、子どもたちの生きた体験機会が減りつつあります。種の選定から苗づくり、水田に入ってから田植え、稲刈り、そして炊飯まで、一連の作業を体験として記憶に残してほしいと思っています。



ご協力いただいた 小林 勉さん

家庭教育への支援

岡山市立中央図書館

岡山市立中央図書館では、1歳頃までの赤ちゃんや保護者を対象に、月に1〜2回、絵本の読み聞かせ体験を行っています。赤ちゃんたちはゆったりとした雰囲気の中で、職員ややさしい語りかけに耳を傾け、絵や声の響きに反応しながら「絵本の世界」を楽しんでいます。保護者の方も、わが子の様子を見守りつつ、近くの方と自然に言葉を交わし、ほっと一息つける時間を過ごしています。この活動は、絵本を通して親子のふれあいを育み、赤ちゃんの中に小さな好奇心を引き出す大切な機会です。

こうした読み聞かせの取組は、その他の市立図書館でも実施しています。ぜひお近くの図書館にも足を運んでみてください。

ゆっくり読む声と
線や色のはっきりした絵が
赤ちゃんの好奇心を刺激します。



司書の声

絵本と人が寄りなすやさしい時間

読み聞かせによって、言葉の響きと絵の美しさに直接ふれることができます。この体験がご家庭でも絵本とふれあう機会につながればと考えています。参加者からは次回開催を楽しみにしている声が届いています。



岡山市立中央図書館 司書 石田 藍さん

参加者の声

わらべうたなどここで
しかできない体験もでき
ます。親もリフレッシュで
きて、絵本と
ふれあう楽し
さを実感して
います。

